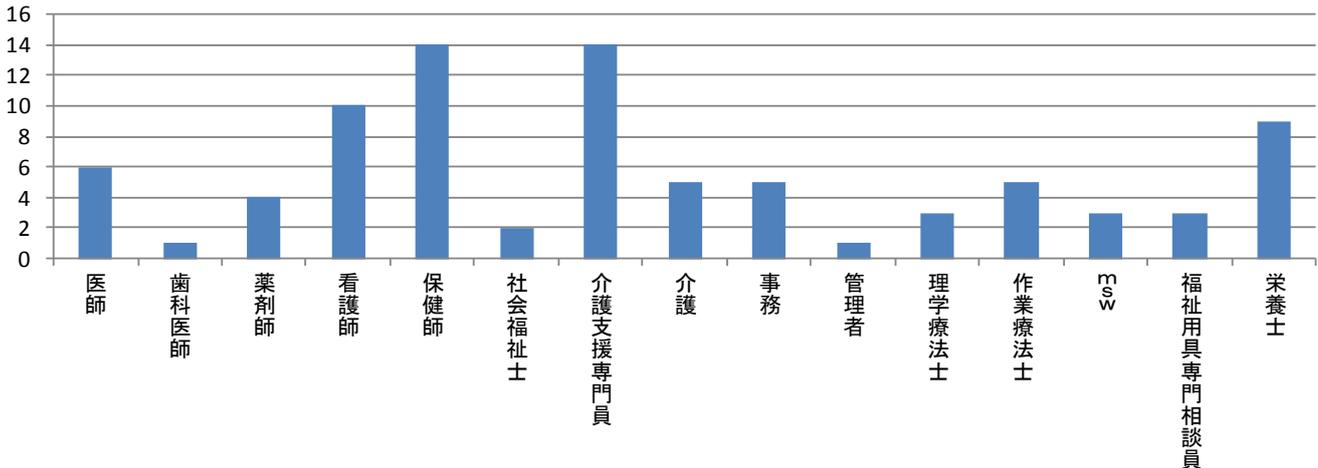
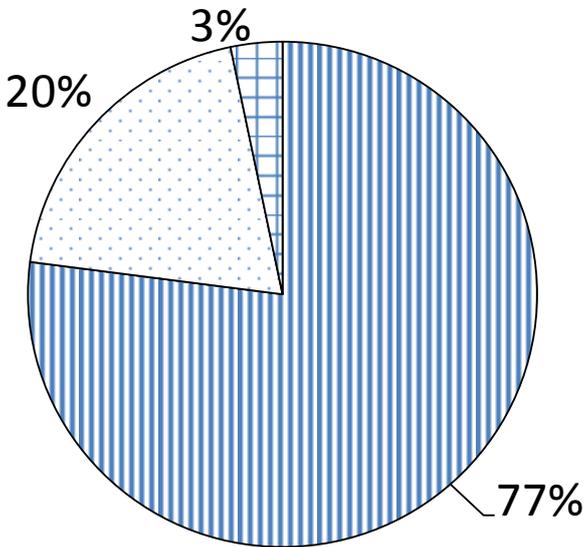


平成29年度第3回医療・介護多職種連携会議 アンケート結果

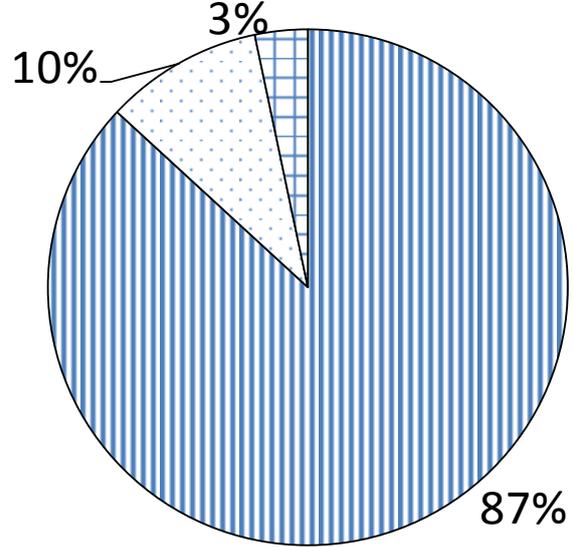
参加者内訳



自分の考えを発表することが出来ましたか？



今日の研修会で気付いたり、考えが変わった事がありますか？



□ はい □ どちらともいえない □ いいえ

研修会参加者数 85 名 アンケート回答者 61 名 回収率 71%

Q4. 今日の研修で気付いたり、考えが変わった事がありますか？

- ・口腔ケアをしっかりと指導していく。
- ・体重を計る。
- ・利用者さんに対しての目線、体調、食生活。
- ・歯、口腔ケアの重要性。
- ・病院へ相談してもよいこと。
- ・歯周病検査があることを知りました。
- ・市内の病院でがんばっておられる糖尿病の活動を知ることが出来ました。
- ・歯の主治医を持つこと。
- ・あいうべ体操をしようと思いました。
- ・糖尿病、歯周病の恐ろしさとチェック方法、観察方法。
- ・歯周病が大きな疾患と関係があること、歯の大切さをしりました。
- ・歯科は大事。歯科医師もDMのことをしっかり考えられていることを知りました。
- ・糖尿病、歯周病の方への支援できることに気づけた。歯ぐきの大事さが勉強になった。歯を意識する。
- ・足を見ることの大切さ。これから実行しようと思います。
- ・在宅での患者さんが困らない退院指導をしていこう。
- ・指導にいける勉強をする。

## 平成 29 年度新見市在宅医療・介護連携推進事業

・一つの病気を他の病気と関連づけて、観察していくことが大切。医療機関と連携をとり、小さなことでも報告しあうことが早期発見につながり、医療費の削減につながる。

- ・話をしっかり聞くこと。次回受診の時、気がついたことがあれば医師へ情報を。
- ・糖尿病の支援についてまだ知らないことが多いので、最新の情報をチェックしていきたいと思いました。
- ・口腔ケアについて必要だとは思いつつも、まだ積極的にすすめられていなかったの、すすめたいと思いました。
- ・年齢的に歯の具合が悪くなりつつあり、治療する必要があります。ですが口の中の治療は痛くならなければ気がすみません。

- ・他職種の方の DM 患者さんへのアプローチの困ったことを聞くことができ、連携方法を考えることが出来ました。
- ・日々の診療の中で個別性の普及、ケア指導を十分にすることが出来ません。フットケアには特に重点を行えたらと考えていました。改めて、歯科、フットケア、話を聞くことの大切さを認識しました。
- ・在宅での DM コントロールが難しいと感じました。
- ・病院を退院された後の生活把握の難しさ。
- ・薬剤師さんとの連携の難しさ。
- ・DM は大きな問題だが具体的に動いていない事業所も多い。
- ・職種によってご利用者への対応が難しいところがある。自分の働いている施設での対応も、もっと出来ることあるのではないかと思った。
- ・小さなことを少しずつ積み上げることが必要だと感じました。
- ・歯科→医科連携の可能性を探りたいです。
- ・患者様につらいことを聞いてみる。
- ・患者さんと話して情報を聞き出すことも大切だけど、いつもと違うなって感じることも大切だと知った。
- ・食事をコントロールしている方に食事がつらくないですか？と聞いたことはなかった（逆に「よくコントロールされていますね。」ということはあるが・・・）。その努力を労うと同時に無理をしていないかどうかという寄り添う気持ちはとても大切だと思いました。
- ・行政の動き。気づいていないところで多くの活動をしているところ。
- ・市の検診での糖尿病関係の指導の有無が HbA1c6.5%であること。
- ・予防として行政で取り組んでいることを知れた。
- ・行政は多くの健康教室を開いていること。
- ・行政の活動について知らないことも多くて、いつか活用の声かけとか出来るようになるといいと思った。
- ・日々感じていることが太田先生の講義で、自分たちだけが感じているんじゃないんだな～と思いました。なかなか病院へ行ってくれないし、歯科へはもっと行ってくれない。予防の難しさを痛感しています。
- ・市としては、広く広報しているつもりでも、市民、専門職にも十分浸透していないことに気づかされた。あらゆる機会をとらえ、広く市民への周知の必要性を感じた。
- ・日ごろ話をする事が出来ない職種の方と話をして、行政のしている事業が知られていないことがわかった。

### Q5. より具体的な取り組みとしていくためには何が必要だと思いますか？

- ・内服薬、インシュリンが確実に出来る指導を行う。
- ・関係者がある程度の知識を持つ。
- ・職員、地域みんなで同じ目標を持ち、知識をレベルアップしていくこと。
- ・一人ひとりの理解が必要。
- ・まずは自分自身の健康、あいうべ体操をやってみる。
- ・多職種、行政が一丸となって取り組む（役員だけが集まるのではなく、今回のような集まり）
- ・他部署との連携を深める。情報共有できる機会を増やす。糖尿病について知識をふかめる場を設ける。
- ・職種間の連携、情報共有。
- ・まずは多職種での連携。
- ・薬剤師もチームの一員として、薬歯連携、行政との連携を深めることが必要だと感じました。
- ・主治医や看護師と連携をしっかりとっていく。
- ・敷居の低い関係作り
- ・それぞれの取り組みや支援内容をまだ十分に共有できていないと感じた。
- ・自分の職業で出来ること、または出来ないこと等、他職種へ報告、相談していく（アドバイスをもらう等）。
- ・自分の職業で出来ることをしっかりと把握して、1つずつ取り組む。他の職種の方の活動を良く知り、協力していくことが大切だと思いました。
- ・こうした話し合う場で、情報を共有し、悩みを話し合うことがまず大切だと思います。

## 平成 29 年度新見市在宅医療・介護連携推進事業

- ・何をすることもチームで連携する大切さ。
- ・啓発活動を市民の方にしていく。糖尿病の重要性を知ってもらい予防する。
- ・歯にトラブルがなくても歯科受診する必要性を啓発していく。
- ・ご本人、そのご家族との積極的な関わりを持っていくこと、ご理解してもらえらるまで説明をしていく。
- ・予防が大切だということを伝えていくこと。
- ・地域での健康教室で歯周病と DM の関係についての内容を入れ、口腔ケアの意識を少しでも高めてもらう。
- ・実際に出来るのは積極的な啓発ぐらいなのが残念です。
- ・まず自分の職場内の取組み。行政の助けをかりた啓発。
- ・DM 専門のワーキンググループができたらいいな。
- ・市民への情報公開。新見市内に糖尿病専門医を増やす。
- ・一般検診に歯周病予防も取り入れてほしい。
- ・糖尿も歯のことも少し知っててそのままの知識もみんなあると思うので、情報の更新、教室の開催 PR, 関心を持つ人を増やそう。
- ・フットケアがんばります。
- ・次に何をしないといけないか？具体化していく。
- ・糖尿病のリスク層に応じたアプローチのルール作り。多職種連携の要素を取り入れて。
- ・糖尿病患者としっかり会話内でチェック。
- ・最新の治療をみにつける。
- ・歯周病、糖尿病チェックシートの配布、活用。
- ・口腔ケア、訪問看護、服薬管理の徹底。

### Q6. 講義の内容や、会議の企画・運営に対するご意見（グループワークの方法など）があればお書き下さい。

- ・今回のように職種別にグループ編成をしたグループワークも時には有効だと思いました。特に今回のように DM となれば、食事、運動、服薬など具体的に何から取り組むとよいのかを話すにはとても良かったと思いました。
- ・グループワークで出た案を次回に活かしていく手法はすばらしいと思います。
- ・今回のやり方も面白い。
- ・医師は分散してもよかったかも。
- ・若い人が発表というシステムに毎回困っています。
- ・今回のような職種別でもう少し行ってほしい。
- ・理解を深めてもらうための啓発活動を行政等に企画してほしい。
- ・とてもいい勉強になりました。ありがとうございました。
- ・今日行ったような職種別のグループワークも内容によってはよいですね。
- ・ご講演が具体的だったので、今後取り組んでいくことも具体的に出てきたように思う。
- ・同じ職種、立場で行うグループワークはより具体的な話し合いが出来るのでいいと思えた。
- ・薬剤師さんと日ごろ、そんなにお話する機会がないので面白かったです。
- ・行政への要望という表現より、一緒にやっていくこととの考え方のほうが良いと思いました。
- ・KJ 法がいいと思います。今日の職種別は良かった。
- ・他の職種の方とお話するのもいいですけど、他の病院さんと同じ目線でアドバイスなど聞けてよかった。
- ・毎年「DM」についての取組みを進めていくようであれば、岡山県が主催している「DM ネット」に参加されている市内の方々が出来れば「DM ネット」の新見支部版を組織して、多職種連携の DM 事業と効果的に連動できるとよいのではないかと思います。とても役立つ研修会を企画していただきありがとうございました。
- ・具体的なテーマで同職種といろいろ話が出来た。専門用語混ざっても分かり合えた。行政の人が各チームにいてよかった。
- ・いろんな職種が関わることで新見の糖尿病への取組みも変わると思いました。
- ・同じ職種でのグループワークでしたので、同じような問題を抱えていたり、話がしやすかったです。
- ・これからの糖尿病対策に役立てられるようなグループワークが出来ました。
- ・行政の取組みや会議、計画等ありますが、多すぎてよく分かりません。前回の反省等もどのようにしているか等、わかりやすく見えるようにしてほしい。
- ・同じような会議がたくさんあるように思います。どの会議がどういう目的なのか分かり辛い。

※同じ内容のご意見はまとめて掲載させて頂きました。